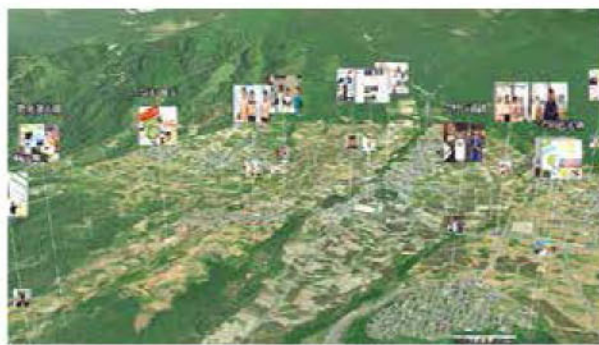


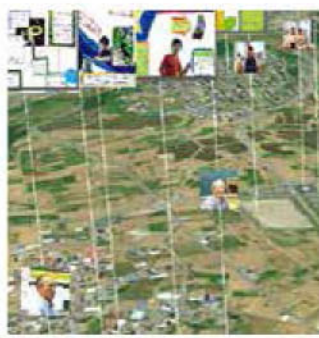
記憶を伝える ・ 地域を伝える



作成したパンフレットを、パソコンやタブレット端末を用いてデジタルアーカイブへ入力する
榊形西小学校の6年生。入力した項目が増えていく様子は随時教室のスクリーンに映し出されました。
「モノ」だけでなく、「思い出にも、価値がある」と話した児童の感想が印象的でした。



「西地区有名計画」版デジタルアーカイブ
児童が作成したパンフレットを、デジタル地球儀上に配置した様子です。
パンフレットのアイコンをクリックすると大きく表示されます。また、アイコンの下には、インタビューした地域住民の皆さんの顔写真が表示されており、それをクリックすると動画を見ることができるシステムです。この画面は、あくまでも作成途中のもので、機能がいろいろと加わる予定です。



この西地区有名計画版アーカイブも、一般のデジタルアーカイブと同じく12月の「博し」スタート時に広く公開します。

パンフレットのほかにも児童が映っているアイコンもありますが、これは一昨年の取り組みで、調べた地域の魅力を自ら湧出し動画で発信しているものです。この動画も今回のアーカイブでは一緒に紹介しています。



左の写真は、野牛島地区でのかつての暮らしを教えてくださいとコマで、このような普段の調査で記録している地域の皆さんの動画や、児童が地域の方にインタビューしている動画、さらに児童自らが発信している動画(下段左)は、動画投稿サイト「youtube」の「ふるさとまるまる博物館 文化財Mなび」というチャンネルで視聴できます(下段中)。

12月には「デジタルアーカイブ」や「文化財Mなび」で公開します。



こちらからチャンネルへ！

12/1 START!

南アルス市

ふるさとまるまる博物館

Furusato Maru-Maru Museum

オープニング記念ウォーキング
12月1日(土) 9:00~12:30頃まで

市之瀬台地を舞台に、「ふるさとまるまる博物館」を楽しく体感できるウォーキングを行ないます。

要申込:055-282-7408(ふるさと文化伝承館)

十二月のスタートに向けて準備を進めている「ふるさとまるまる博物館」では、地域に暮らす方々の「記憶」も、地域の歩みを語る大切な歴史資源であると考え、大勢の方々の昔の思い出話を聞き取り、動画でも記録していきます。皆さん笑顔でお話をされるのが印象的です。

ふるさとまるまる博物館での「伝える」手段として、これまでなかったホームページや文化財Mなびを「博し」発展させることも、さらに「多目的デジタルアーカイブ」という新たな取り組みも行なっています。

これは、インターネットの「デジタル地球儀」上に人々の「記憶」や「歴史資源」の情報を配置し、わかりやすくする「記憶」や「地域」の歩みを未来へ継承するものです。「この分野の第一人者である東京大学大学院情報学環の渡邊英徳教授の研究室と共同研究で取り組んでおり、現在、記録した動画を少しずつ動画投稿サイトで公開し、次にそのデータをデジタル地球儀に配置していきます。蓄積する毎に、地図上に多くの市民の顔が溢れる仕組みです。

榊形西小学校では、このデジタルアーカイブの取り組みを「西地区有名計画」と名づけて授業で実践しました。五月から取り組み、まずは地域にどのような歴史資源があるのかを学び、実際にどこにあるのかを訪ね、それぞれが興味をもったテーマについて地域住民の方にお話を聞きながら調べました。その内容は自らパンフレットにまとめ、七月の授業でデジタルアーカイブに掲載しました。

また、その際の地域住民へのインタビューも動画に記録し、同じくデジタルアーカイブに掲載していきます。十二月の公開を楽しみにしています。

写真:文化財課